



# Pure 純 No.196 Pacific パ Mar.2018

純パの会会報「純パ」第196号

2018年3月17日発行 / 発行:純パの会

## 明治、大正、昭和初期… 様々な歴史的つながりを実感した歴史探訪

『第8回パ・リーグ歴史探訪

～開成学校運動場跡地&芝浦球場跡地&洲崎球場跡地巡り～』のご報告

岩河 正剛(東京都福生市)

### はじめに

純パの会の恒例イベントとして継続している「パ・リーグ歴史探訪」。その第8回目を、終日天気に恵まれた2月24日(土)に開催しました。

今回のテーマは「明治、大正、昭和初期の野球場跡地の探訪」。前回までは過去にプロ野球の試合が行われた跡地やパ・リーグにゆかりのある場所を選んで探訪してきましたが、すでにある程度代表的な跡地は探訪したこともあり、今回は視点を変えて「時代」というものを強く意識した内容にしようと思いつき、日本に野球が伝えられた時代(明治時代)から戦前までの間に存在した野球場をフォーカスしました。そこで考えたのが、今回のテーマです。

具体的には明治時代の野球場として「日本野球発祥の地」である開成学校の運動場を、大正時代の野球場として「日本プロ野球発祥の地」である芝浦球場を、そして昭和初期の野球場として「職業野球リーグ戦草創期のメッカ」である洲崎球場を、というように、各時代を代表する野球場を一か所ずつ選び、これらの場所を明治→大正→昭和初期の順番に巡る、という行程で決定しました。

このように、今回は「パ・リーグ歴史探訪」という名称ながら、パ・リーグが誕生するはるか以前の野球場跡地を探訪しました。

### 1. 神保町駅出入口に集合……

集合場所は地下鉄神保町駅のA9出入口。神保町駅には数多くの出入口がありますが、A9出入口が最初の探訪地(開成学校運動場跡地)に一番近いので、ここに決定しました。この場所に5人が集結。従来と比べてかなり少ない人数なのが少々残念でした(今回のテーマがマニアック過ぎたから?)。参加者に探訪地に関する資料をコピーしたものを配布した後、最初の探訪地である開成学校運動場跡地へ向かいました。さあ出発!